

■ M & A 企業評価（バリュエーション）の実務（半日／4 h）

DCFや類似企業分析等の標準的企業分析方法と活用の仕方については「財務戦略の理論と実務」で触れますが、本講義では、それからさらに一步踏み込んだ分析方法について、それぞれの特徴や留意点を紹介します。さらにケースを用い、実際にエクセルでDCFによる分析を試みる他、限定的な情報を基にした簡易的な企業評価等々、実践に役立つ手法を紹介します。デモに使用したエクセルファイルはお持ち帰りいただけます。

【講師】 宮川 圭治（リンカーン・インターナショナル シニア・アドバイザー
／元 ドイツ証券株式会社 副会長・M & A部門責任者）

【日時】 2024年6月11日（火） 午後1時00分～午後5時00分（4時間）

【受講料】 32,000円（税込） ※本テーマは、投資銀行の方のお申込はご遠慮ください。

Session 1 M & Aバリュエーションの概要 < 120分 >

1. M&Aにおける財務分析のフレームワーク
2. バリュエーション分析
 - ⇒ ターミナルバリュー
 - ⇒ 非上場企業のWACC
3. 類似企業比較分析の注意点
4. 類似取引比較分析の注意点
5. Floating Bar Chart
6. Football Chart
7. ANALYSIS AT VARIOUS PRICES

Session 2 M & Aバリュエーションの応用 < 120分 >

1. DCFモデル作成の留意点 ～ 新型コロナが与える影響
2. マルチプルを利用した企業価値の推計
3. シナジー分析
4. WACCと投資のハードルレート
5. Adjusted Present Value ～ DCF法との比較
6. EPS（一株純利益）感応度分析（Accretion / Dilution analysis）
7. プロフォーム（予想）財務分析
8. 企業評価方法の選択
9. 非上場企業の修正利益
10. 入札価格の考え方
11. 買収価格の妥当性
12. 米国中小M&A市場における買収マルチプル
13. フェア（公正）な価格とは何か？